

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1342
施設名	国立クムクム保育園
施設所在地	東京都国立市中2丁目18-2
法人名	社会福祉法人聖光会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

植物の色水遊びを通じた地域との関わりや染物への興味関心・子どもの育ち

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

クラスのある科学の図鑑で植物から様々な色水が作れるということを発見し、取り組んでみたいという話題が上がった為。

2. 活動スケジュール

5月：散歩先の植物で色水を作る/6月：色水用の植物を栽培する/7月：育てている植物の成長を発見しその日の水やり当番が帰りの会でどのように生育しているかみんなに伝える。梅シロップを作り変化を写真に記録しどう変化していったか話し合う。/8月：育てていたアサガオが咲き始め何色が咲くか予想する。/9月：暑さが和らぎ戸外での色水作りを再開する。すり潰す、濾すなど様々な方法を見つけ出す。/10月：どの植物でどんな色が出るのか予想し結果を紙にまとめる。/11月：色水を使ったキッチンペーパーの染め出しをきっかけに染物に興味を持ち始める。/12月：染物の本を見ながらどの食材で染めてみたいか皆で話し合い決める/1・2・3月：食材などをスーパーに買いに行き実際に染め出しを行い結果をみんなで話し合い紙芝居にし行事の際に保護者の方に発表する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・自然物・水・ビニール袋・さえばし・鍋・ミョウバン・こしき・布・植物図鑑・染め出しの絵本・染め出しのための木綿布・染め出しに使用した食材（豆乳・ナス・玉ねぎ・ニンジン・大根・柚子・ラズベリー・白菜）/自然物の多い公園を設定する/染め出しをする際は子どもたちとしっかり話し合い怪我の無いように行う。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

自然物を使っての色水作り/色水を使ったキッチンペーパー染め/食材を使った布の染め出し/今回の活動を紙芝居にまとめ保護者の方に自分達で発表
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等) 【自然物での染め物】草花採集をするに当たり、花壇の花は採ってはいけないことを伝えました。「人が大切に育てている花だからだね」「これは採ってもいいお花かな?」自分で考え行動してみたり、良いこと、悪いことがあることに気づき相手のことを思いみたりする姿が見られた。・散歩先を決める際には「確かあっちの公園に青色のお花があったと思うよ」「この花は何色の色水になると思う?」「この花はきっとこの色になると思う!」「一緒に〇色のお花集めよう」と友達と目的を共有し、自分の思ったことを相手に伝え、友だちと共通の目的を見出し協力する姿が見られた。・色水遊びの回数を重ねるごとに「綺麗な色水にするためにはどうすればいいんだろう」という疑問も生まれ友達と葛藤を経験しながら、アイデアを出し合って共通の目的を実現するために協力し合う楽しさを味わった。身近な植物によく触れ合ったことで、春に咲いていた花が秋には無くなっていることや、前回見た時はつぼみだったものが花を咲かせたこと、秋の紅葉など、より自然の変化・事象に興味関心が持てるようになり、「花が咲いたからもう(花が)起きたってことだね」など子どもたちなりに探求心を深め発見を楽しんだり考えたりする事ができた。・子ども達から「つぼみはまだ赤ちゃんだから採らない方がいい?」と提案があり、生命の尊さに気が付き、いたわったり、大切にしたりする様子があった。採ってきた花の紹介をみんなにする機会を設け、自分の思いを言葉で伝えると共に、他の友達もその児の話しに興味を持って注意し聞くことで次第に話が理解できるようになっていき言葉による伝え合いができるようになっていった。・色水のカラーチャートが載っている図鑑の存在に気が付き、1人でじっくり読んだり友達と一緒に声に出して読んだりして楽しさを味わってみたり文字に対する興味関心をより深めることができた。綺麗な色水ができた感動を保育者や友だちと共有し豊かな感性を大切にしていきました。作った色水でキッチンペーパーを染め、綺麗な模様ができることを喜んだり、水につける時間が長いと色が混ざり合う不思議を感じたりしていきました。作った色水を太陽にすかして美しさを味わい、豊かな感性を育むことができました。

【玉ねぎや食材の布染】

・どの食材を使って染めたいか話し合い、今の季節に売っている食材なのか保護者にも協力いただき休日にスーパーを見てもらい、値段を調べるなどした。・実際に食材で染めてみてどんな色になったのか必ず振り返りを行い紙にまとめた。・玉ねぎの皮が大量に必要だということが分かり給食室や園の保護者に向け子どもたちが手紙を書いて自ら集めたものを使用した。・保護者の方と一緒に玉ねぎの染め物をしたことで輪ゴムでの絞り出しや、染める際のポイントを子どもたちが自分の言葉で保護者の方に説明する様子があった。・実際に染めたものを日常の中で使用し「あの時あんなことが楽しかったよね」など思い出を振り返る様子もあった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今年度のクラステーマを「何でも挑戦」に設定しており、色水や染物の活動を通して自分の想像していた色でないものになっても「もう一回挑戦したい」「まだやりたい」と切磋琢磨する様子が多く見られました。子ども達同士で話し合ったり、想像したり、結果を表にまとめる時間を意識的に作っていったことで自分の意見を相手に伝える力が多いに育ち様々な行事でも自分達で話し合っ進めようとする自主性が育まれていったように感じました。